

資料 1

平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査

質問紙調査と教科に関する調査の説明資料

「教科に関する調査」の結果の概要については、「◆」印がついた課題があると考えられる主な設問を取り上げている。

1

高橋さんの学級では、生活の中で気になったことを調べ、友達に報告することになりました。高橋さんは、**公衆電話**について調べています。次は、高橋さんが書いている**「報告する文章」**です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【報告する文章】

公衆電話について

高橋 めぐみ

1 はじめに

先日外出したときに、家に電話をかけようと近くの店に行くと、あつたはずの公衆電話がなくなっていて、こままってしまいました。また、よく行く公園の公衆電話も、いつの間になくなっていました。わたしは、公衆電話の数が減っているのではないかと思いました。町の公衆電話の数を調べてみることにしました。それをまとめたものが**〈資料1〉**です。平成二十年度から二十九年までの十年間で、約半分にまで減っていることが分かりました。そこで、公衆電話は、わたしたちにとって必要がなくなってしまったのかどうか調べてみることにしました。

2 調査の内容と結果

(1) 公衆電話はどのようなときに必要なのか

多くの人がけいたい電話を持つ中で、公衆電話が必要とされているのかどうかを調べてみることにしました。そこで、地いきの人三十人を調査の**ア**たいしようとして、公衆電話は必要かどうかを聞いたところ、ほとんどの人が必要だと回答しました。その理由をまとめたものが**〈資料2〉**です。「けいたい電話をわすれたときに必要」、「けいたい電話の電池が切れたときに必要」などの回答がありました。このことから、公衆電話は、主にけいたい電話を使うことができないときに必要とされているということが分かりました。

(2) 公衆電話にはどのような使い方や特ちょうがあるのか

公衆電話について書かれた資料を調べてみると、公衆電話には、次のような使い方や特ちょうがありました。

- ・警察署(110番)や消防署(119番)には、硬貨やテレホンカードがなくても通報することができます。
- ・停電のときでも、硬貨を使って通話をすることができます。
- ・電話が混み合っているときでも、優先的につながりやすい。

このように、公衆電話は、きん急のときにも使うことができるということが分かりました。

(3) 公衆電話はどのような場所にあるのか

公衆電話を必要なときに使うことができるようにするためには、どのような場所に設置されているのかを前もって知っておくことが大切だと思ったので、わたしは、公衆電話の設置場所を確かめてみることにしました。実際に町を歩いてまとめたものが**〈資料3〉**です。

3 調査の結果をもとに考えたこと

この資料から、公衆電話は、主に病院や学校、駅などの多くの人が集まる場所にあるということが分かりました。

また、公衆電話を使いたいときには、多くの人が集まる場所へ行けば見つけやすいのではないかとすることも考えました。今回の調査を通して知ったことを、学級の友達にイカざらず多くの友達に伝え、公衆電話についてウかんしんをもってもらいたいと思います。

〈資料3〉

公衆電話の設置場所を示した地図



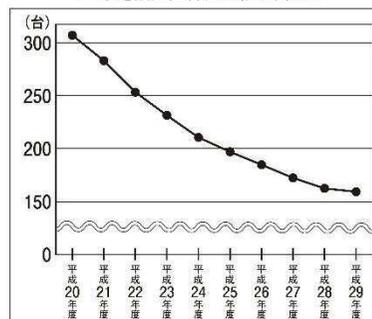
〈資料2〉

公衆電話が必要な理由のまとめ(複数回答)

けいたい電話をわすれたときに必要	22人
けいたい電話の電池が切れたときに必要	12人
けいたい電話の使用が禁止されている場所にいるときに必要	5人
けいたい電話の電波がとどかない場所にいるときに必要	4人
けいたい電話や家の電話がつながりにくいときに必要	3人
その他	5人

〈資料1〉

公衆電話設置台数の移り変わり



小学校〈国語〉

課題となる主な設問

◆ 1 四 (2)

文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くこと

四 高橋さんは、【報告する文章】を書き終え、読み返しています。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(2) 高橋さんは、読み手に伝わりやすくするために、【報告する文章】の の文を二つの文に分けて書き直すことにしました。文と文をつなぐ言葉には「そこで」を使います。書き直した一文目の終わりの五文字と、二文目の「そこで、」に続く五文字を書きましよう。なお、読点(、)も字数にふくみます。

公衆電話を必要なときに使うことができるようにするためには、どのような場所に設置されているのかを前もって知っておくことが大切だと思ったので、わたしは、公衆電話の設置場所を確かめてみることにしました。

。そこで、

※解答は、解答用紙に書きましよう。

正答例

思いました。(。そこで、)わたしは、

と思います。(。そこで、)わたしは、

正答率：46.1% -1.7

小学校〈算数〉

課題となる主な設問

◆ 1 (3)

示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を言葉や数を用いて記述すること。

(3) ゆうたさんたちは、2つの合同な台形で作られた図1の形の面積を求めようとしています。

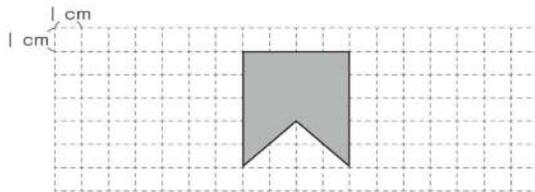


図 1

ゆうたさんは、図1の形の面積を、次のように求めました。

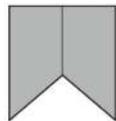
【ゆうたさんの求め方】

$$(3 + 5) \times 2 \div 2 = 8$$

$$8 \times 2 = 16 \quad \text{答え } 16 \text{ cm}^2$$



図1の形を、下の図のように、合同な台形2つとみました。



まさるさんは、【ゆうたさんの求め方】の中の「 8×2 」が、どのようなことを表しているのかを、下のように説明しました。



8 は、1つの台形の面積を表しています。
 8×2 は、1つの台形の面積を2倍していることを表しています。

正答例

20 は、長方形の面積を表しています。4 は、三角形の面積を表しています。20 - 4 は、長方形の面積から三角形の面積を引いていることを表しています。

図1の形の面積は、 16 cm^2 であることがわかりました。



わたし
私は、ほかの求め方を考えました。

【ちひろさんの求め方】

$$5 \times 4 = 20$$

$$4 \times 2 \div 2 = 4$$

$$\underline{20 - 4} = 16 \quad \text{答え } 16 \text{ cm}^2$$

【ちひろさんの求め方】の中の「 $20 - 4$ 」は、どのようなことを表していますか。「20」と「4」がどのような図形の面積を表しているのかわかるようにして、言葉や数を使って書きましょう。

※ 必要ならば、下の図1を使って考えてもかまいません。

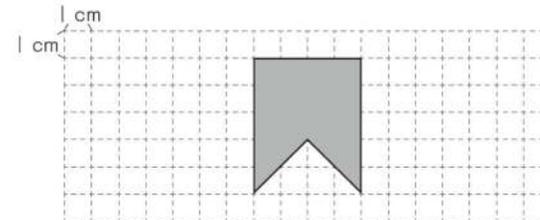


図 1

正答率：50.5% +6.6

中学校〈国語〉

場面②

この前、インターネットのニュースを見て、高齢者の中には少しの段差でも歩きづらいつ感じたり、段差に気付かずに驚いたりしている方がいることを知りました。文化祭には、毎年、高齢者がたくさんいらっしゃいます。ですから、体育館へ向かう通路などに、「段差に気を付けてください。」と書いた紙を掲示してはどうでしょうか。

倉田さん 西野さん

山下さん

ネットにそのようなニュースが出ているんですね。掲示物で注意を促すのはよいアイデアだと思います。そういえば、校内に「土足禁止」という掲示物がありますが、展示や発表を見に来てくださる方に対する言葉の使い方としては、ふさわしくないと思います。別の表現にしてはどうでしょうか。

そうですね。段差への注意を促す掲示物を作ることにしましょう。「土足禁止」をどのような表現に直すのかについては、話し合えないといけませんね。以前から、私も気になっていました。

場面③

山下さんも気になっていたんですね。それに、例年、展示や発表の場所が校内に点在しているので、見て回る経路の例を示した紙を配るとよいと思います。

倉田さん 西野さん

山下さん

賛成です。展示や発表の場所は美術室や体育館など校内のあちこちにあるので、長い距離を移動することに負担を感じる方がいると思います。具体的な経路の例は、展示や発表の場所が決まってから検討しましょう。それでは、今日の話合いはここまでですね。

ちょっと待ってください。具体的な経路のことについては倉田さんの言うとおりでと思いますが、今回出されたことの中で、まだ、どうするか決まっていないことがあります。

A

場面①

【話し合いの一部】

2 第二中学校の生徒会役員の山下さんたちは、「地域とのつながりを大切にした文化祭にするために」という議題で話し合っています。次は、「話し合いの一部」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。(場面①から場面③は、連続した場面です。)

〈議題〉
地域とのつながりを大切にした文化祭にするために

一 生徒会が地域で行っていることについての展示
・ 高齢者向けの施設での交流会の様子
・ 地域の清掃活動の様子

二 展示や発表を見に来てくださる方への配慮

倉田さん 西野さん

山下さん

「生徒会が地域で行っていることについての展示」は、この二つにします。次は、「展示や発表を見に来てくださる方への配慮」について考えましょう。

5

中学校〈国語〉

課題となる主な設問

◆ 2 三

話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつこと

三 場面③の「A」で山下さんは、「どうするか決まっていなかった」とについて自分の考えを述べようとしています。あなたなら、どのような考えを述べますか。次の条件1と条件2にしたがって、実際に話すように書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 話し合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていなかった」とは何かを明確にして書くこと。

条件2 条件1で示した「どうするか決まっていなかった」を解決する具体的な案を考えて書くこと。

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

正答例

校内にある「土足禁止」という掲示物の表現をどのように直すのかということについてです。私は「ここで靴を脱いでお上がりください。」のように直すと思います。

正答率 : 62.4% +2.0

1

◇ 1 三

文章に表れているものの見方や考え方について自分の考えをもつこと

みんなの短歌

今回は、新年度を迎えたフレッシュな心境を表現した作品が集まりました。

目が覚めるジリジリと鳴る前に胸が高鳴る入学の朝

中一 泉 あきら

【選者より】「ジリジリと鳴る前に」と「胸が高鳴る」という表現から、いつもは日覚まし時計の音で起きているのに、この日の朝は、胸がどきどきして日覚まし時計が鳴る前に起きてしまったことが想像できます。入学式の朝は、新しい生活に思いを巡らせて、落ち着かない気持ちになるものです。

正答率：91.8% +0.6

新しいノート教科書取り出して背筋伸ばして始まりを待つ

中一 内山 誠一

玄関の鏡の前でもう一度前髪笑顔ボタン笑顔と

中二 森川 りか

春風がいつもの道を駆け抜ける皆の足取り自然と軽く

中三 松田 花子

三

「みんなの短歌」に掲載されている内山さんの短歌、森川さんの短歌、松田さんの短歌の中から一首を選び（どの短歌を選んで）もかまいません。その短歌を読んであなたが感じたことや考えたことを、【選者より】を参考にしながら、次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 選んだ短歌の中の言葉を取り上げて、想像できる情景や心情を書くこと。

条件2 条件1で想像した内容について、あなたが感じたことや考えたことを具体的に書くこと。

正答例

・選んだ短歌（松田さんの短歌）

「春風」「駆け抜ける」という表現から、春風が人々の間を勢いよく吹き抜けたら、人々を後ろから押しついたりしている情景が想像できる。私は、この情景から春風に押されている人々は、よい気分になって学校や職場に行くのだろうと思い、嬉しい気持ちになった。

・選んだ短歌（内山さんの短歌）

「新しい」「背筋伸ばして始まりを待つ」から、中学生になって胸をどきどきさせながら授業が始まるのを待っている様子が目に浮かびます。これから始まる中学校生活に胸を躍らせながら受けた最初の授業のことは、中学校三年生になった今でも覚えていきます。

中学校〈数学〉
課題となる主な設問

◆ 8 (2)

表やヒストグラムから資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。

8 図書委員会では、生徒の読書活動の状況を調べ、図書だよりにまとめようと考えています。そこで、図書委員の航平さんと桃子さんは、全校生徒 270 人を対象に、最近 1 か月間に読んだ本の冊数と、1 日あたりの読書時間が何分であるかを回答するアンケートを実施しました。

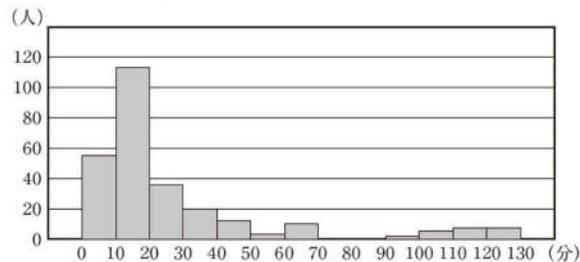
アンケートのお願い	
・最近 1 か月間で読んだ本は何冊ですか。	(冊)
・1 日あたりの読書時間は何分ですか。	(分)

(2) 二人は、実施したアンケートをもとに、1 日あたりの読書時間について、次のような表とヒストグラムにまとめました。桃子さんが作ったヒストグラムでは、例えば、1 日あたりの読書時間が 30 分以上 40 分未満だった生徒が 20 人いたことを表しています。

航平さんが作った表

	平均値	最大値	最小値
1 日あたりの読書時間 (分)	26.0	120	0

桃子さんが作ったヒストグラム



二人は、上の航平さんが作った表と桃子さんが作ったヒストグラムについて話し合っています。

航平さん「1 日あたりの読書時間の平均値が 26.0 分だから、1 日に 26 分ぐらい読書をしている生徒が多いといえそうだね。」
桃子さん「でも、ヒストグラムを見ると 26 分ぐらいの生徒が多いとはいえないのではないかな。」

桃子さんが作ったヒストグラムを見ると、航平さんのように「1 日あたりの読書時間の平均値が 26.0 分だから、1 日に 26 分ぐらい読書をしている生徒が多いといえそうだ」という考えは適切でないことがわかります。その理由を、桃子さんが作ったヒストグラムの特徴をもとに説明しなさい。

正答例

・1 日あたりの読書時間である 26 分は山の頂上の位置にないので、1 日に 26 分ぐらい読書をしている生徒が多いというのは適切ではない。

・度数が最大となる階級は 10 分以上 20 分未満の階級であるので、1 日に 26 分ぐらい読書をしている生徒が多いというのは適切ではない。

正答率：39.3% -1.5

中学校〈英語〉

課題となる主な設問

◆ 9 (3) ①②③

与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く。

(3) 次の表の①から③は、ある女性に関する現在の情報を示しています。これらの情報を用いて、彼女について説明する英文をそれぞれ書きなさい。

①	出身	Australia
---	----	-----------

②	住んでいる都市	Rome
---	---------	------

③	ペット (pet) の有 (○) 無 (×)	×
---	------------------------	---

①

②

③



(正答例)

①与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書いているもの

- ・ She is from Australia.
- ・ She comes from Australia.

②与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書いているもの

- ・ She lives in Rome.

③与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の否定文を正確に書いているもの

- ・ She doesn't have any pets.
- ・ She has no pets.

与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文/否定文を正確に書く

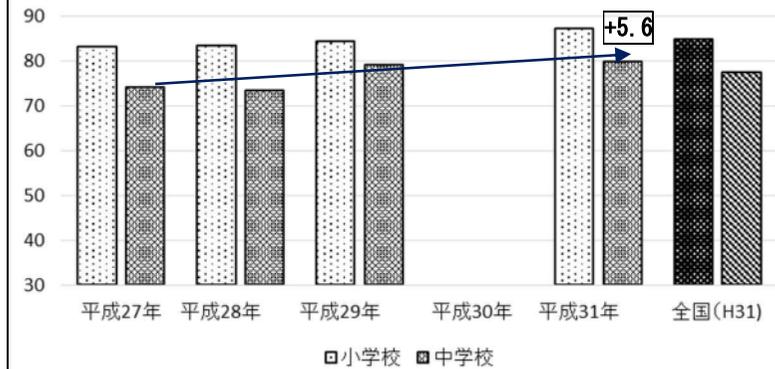
①正答率：49.2%、-4.3

②正答率：39.7%、+6.8

③正答率：44.6%、+7.2

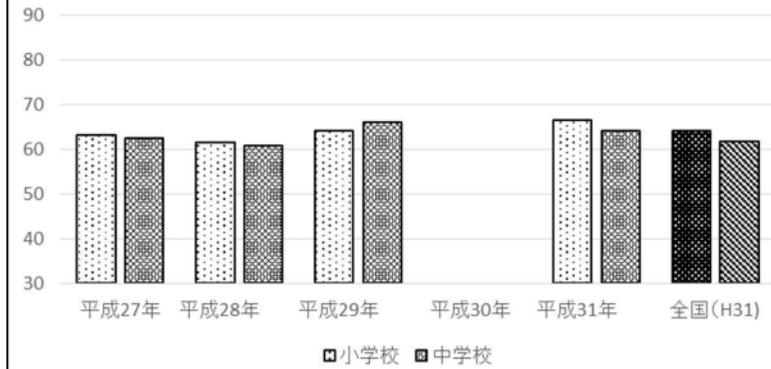
学習に対する関心・意欲・態度(国語)

国語の授業の内容がよく分かる



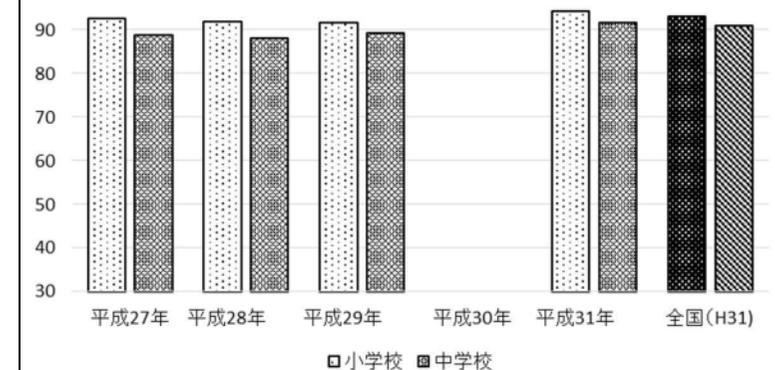
	H27	H28	H29	H30	H31	全国
小学校	83.2%	83.5%	84.5%	—	87.2%	84.9%
中学校	74.2%	73.5%	79.1%	—	79.8%	77.6%

国語の勉強は好き



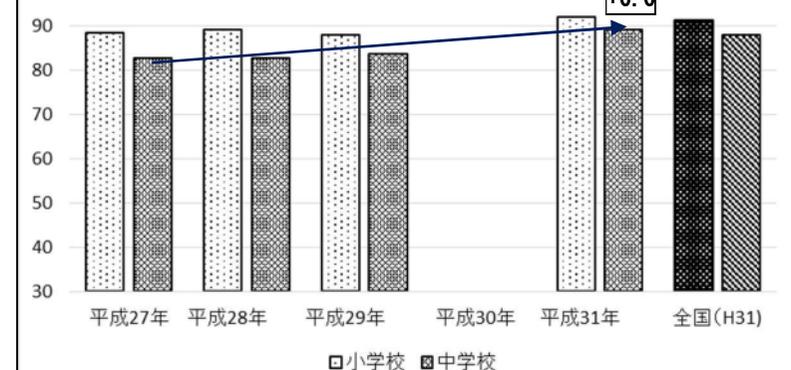
	H27	H28	H29	H30	H31	全国
小学校	63.2%	61.6%	64.1%	—	66.6%	64.2%
中学校	62.5%	60.8%	66.1%	—	64.1%	61.7%

国語の勉強は大切だと思う



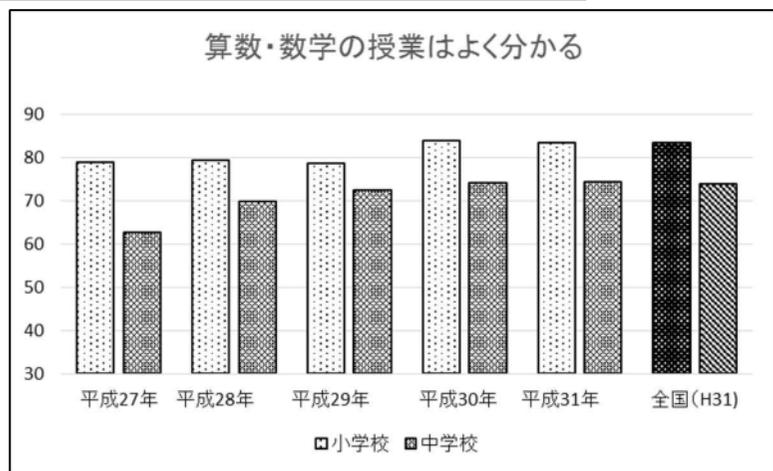
	H27	H28	H29	H30	H31	全国
小学校	92.5%	91.8%	91.6%	—	94.4%	93.0%
中学校	88.9%	88.0%	89.2%	—	91.7%	91.0%

国語の勉強は将来役に立つと思う

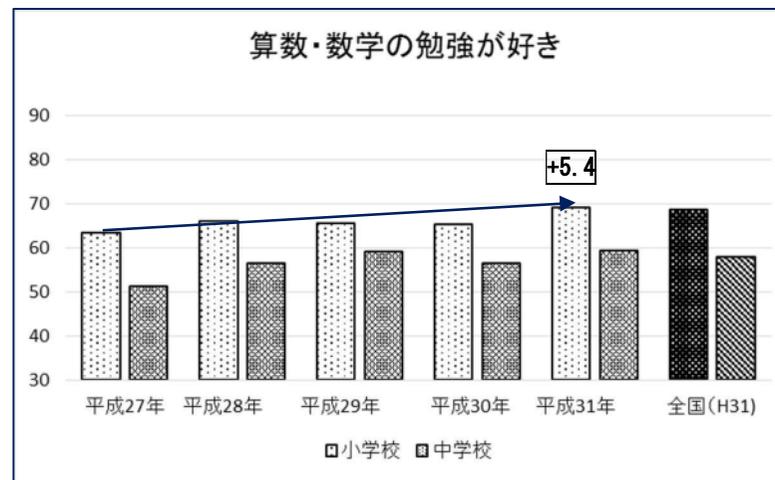


	H27	H28	H29	H30	H31	全国
小学校	88.4%	89.1%	88.0%	—	92.0%	91.2%
中学校	82.6%	82.7%	83.6%	—	89.2%	88.0%

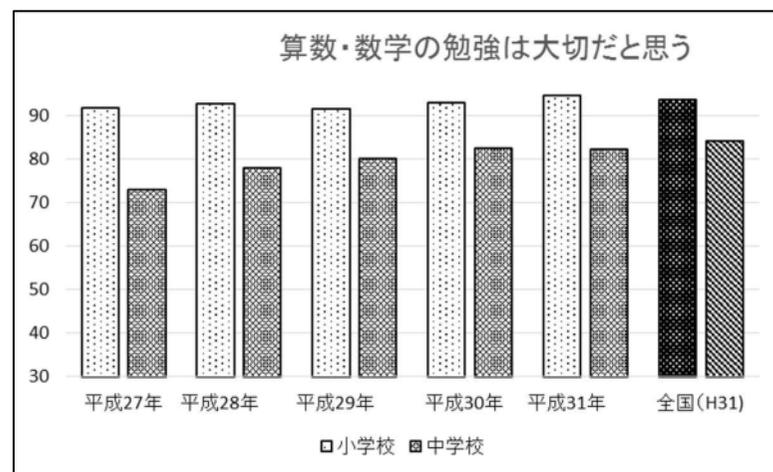
学習に対する関心・意欲・態度(算数・数学)



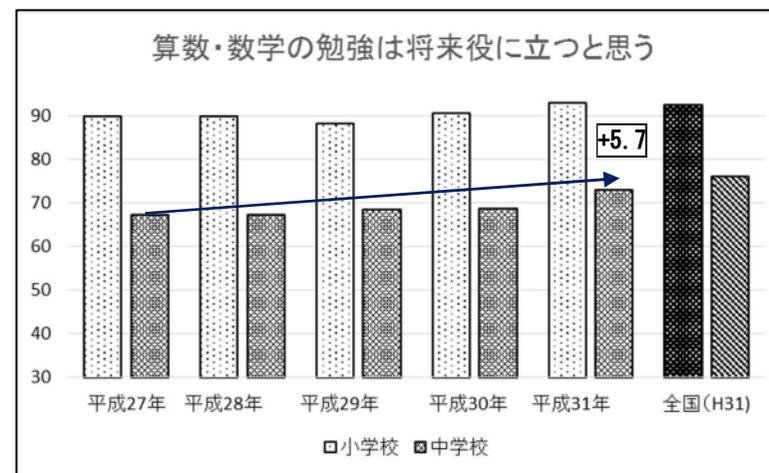
	H27	H28	H29	H30	H31	全国
小学校	78.8%	79.3%	78.6%	84.0%	83.4%	83.5%
中学校	70.6%	69.8%	72.5%	74.2%	74.5%	73.9%



	H27	H28	H29	H30	H31	全国
小学校	63.8%	66.1%	65.5%	65.3%	69.2%	68.6%
中学校	55.1%	56.4%	59.2%	56.5%	59.4%	57.9%

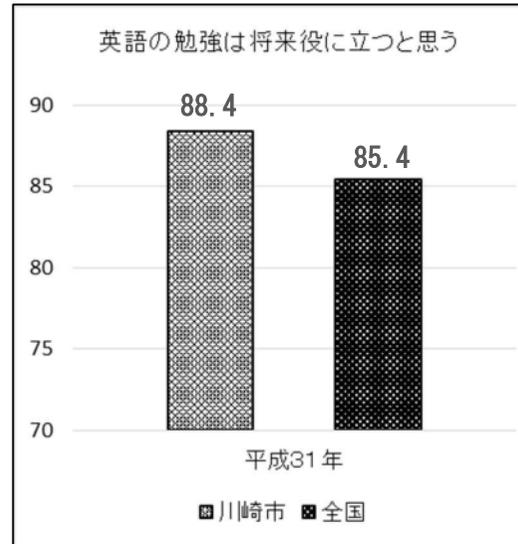
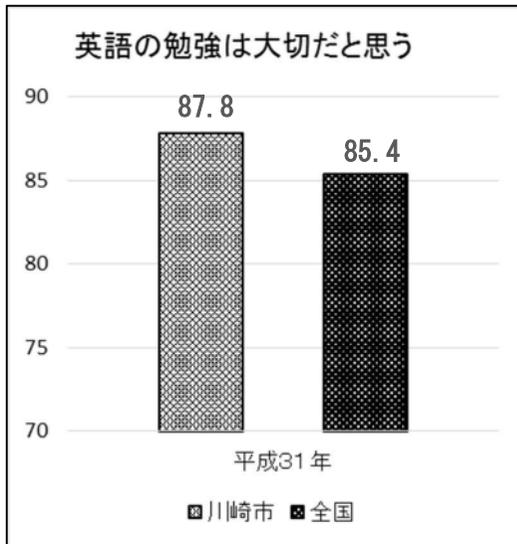
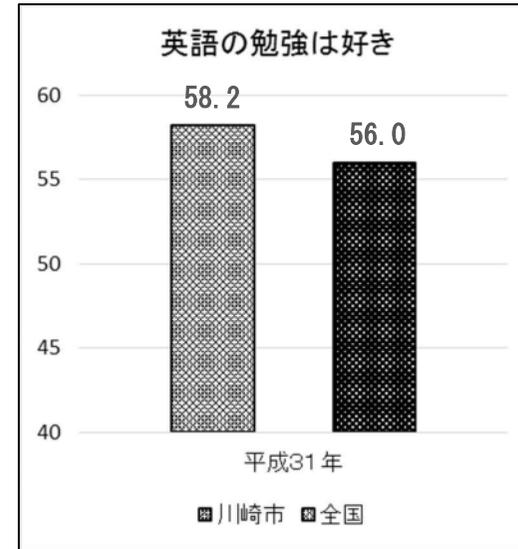
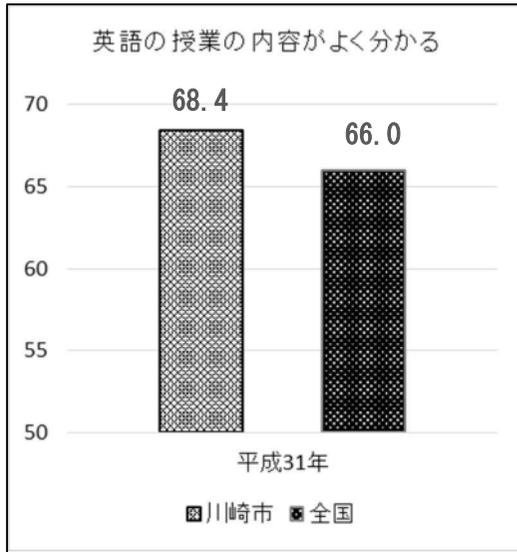


	H27	H28	H29	H30	H31	全国
小学校	93.2%	92.7%	91.7%	93.0%	94.6%	93.7%
中学校	79.2%	78.0%	80.2%	82.5%	82.4%	84.2%

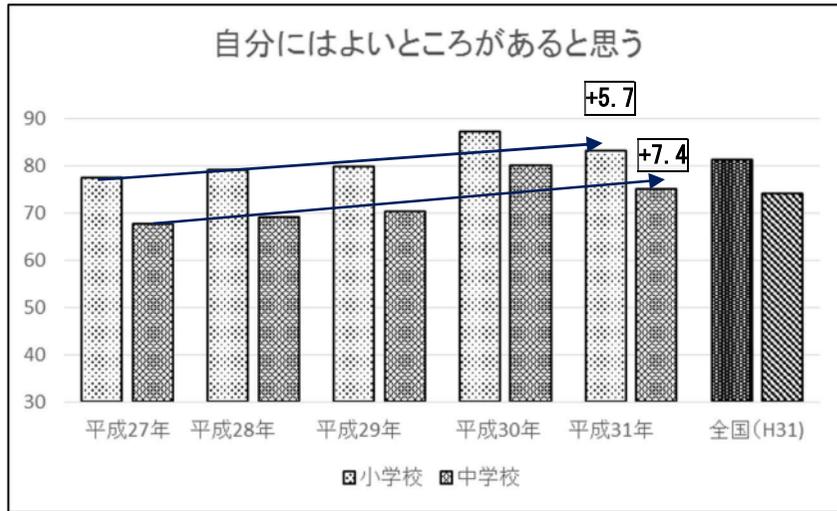


	H27	H28	H29	H30	H31	全国
小学校	90.0%	90.0%	88.3%	90.6%	93.1%	92.5%
中学校	67.3%	67.3%	68.6%	68.9%	73.0%	76.2%

学習に対する関心・意欲・態度(英語)



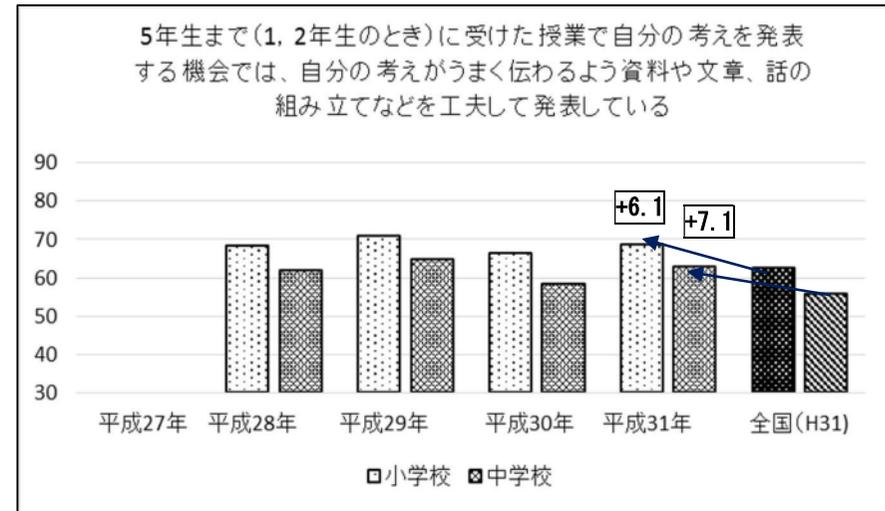
自己有用感等



	H27	H28	H29	H30	H31	全国
小学校	77.4%	79.0%	79.9%	87.3%	83.1%	81.2%
中学校	67.6%	69.1%	70.4%	80.0%	75.0%	74.1%

平成 27 年度と比較
 小学校 +5.7
 中学校 +7.4

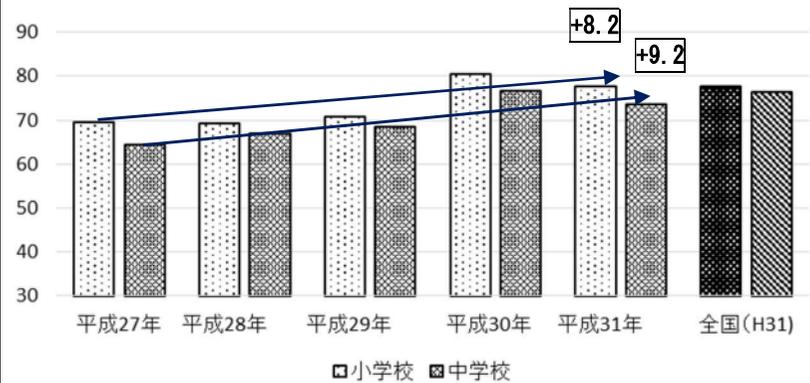
主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導改善に関する取組状況等



	H27	H28	H29	H30	H31	全国
小学校	—	68.4%	70.9%	66.6%	68.6%	62.5%
中学校	—	62.0%	64.8%	58.5%	62.9%	55.8%

平成 31 年度全国と比較
 小学校 +6.1
 中学校 +7.1

友達(生徒)の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている

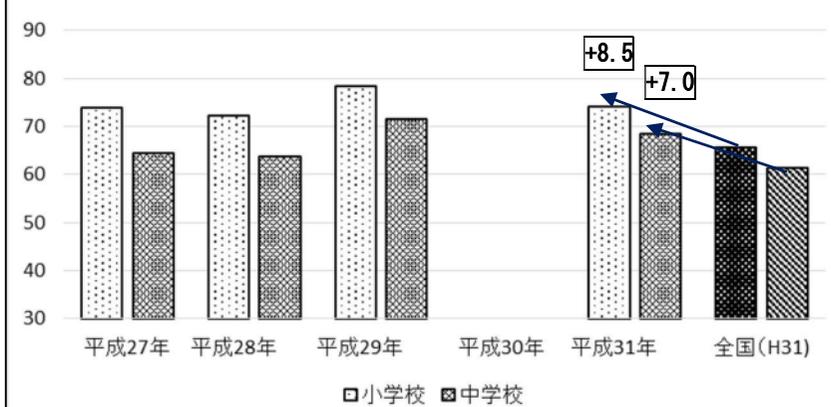


	H27	H28	H29	H30	H31	全国
小学校	69.6%	69.6%	70.9%	80.5%	77.8%	74.1%
中学校	64.3%	66.9%	68.5%	76.7%	73.5%	72.8%

平成 27 年度と比較

小学校 +8.2
中学校 +9.2

総合的な学習の時間では自分で課題を立てて情報を集め整理して調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる

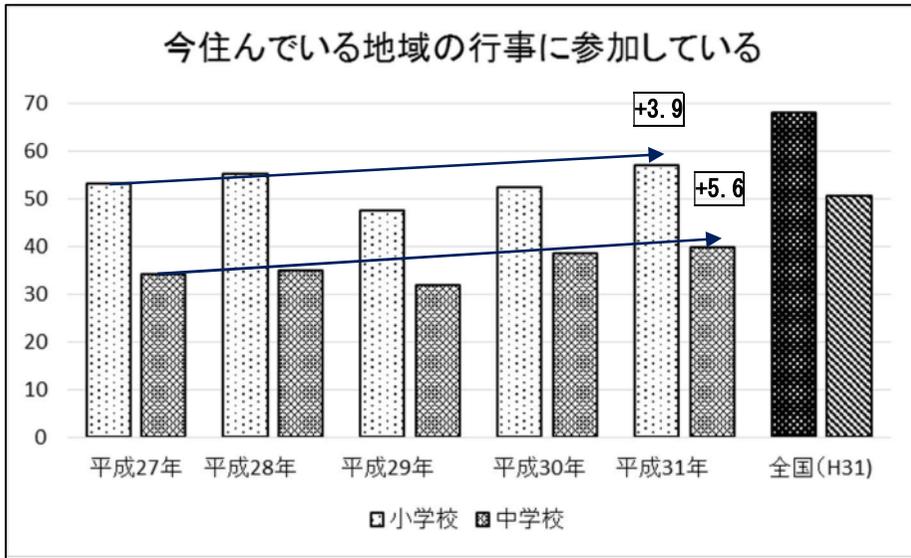


	H27	H28	H29	H30	H31	全国
小学校	73.9%	72.3%	78.3%	—	74.2%	65.7%
中学校	64.5%	63.8%	71.6%	—	68.5%	61.5%

平成 31 年度全国と比較

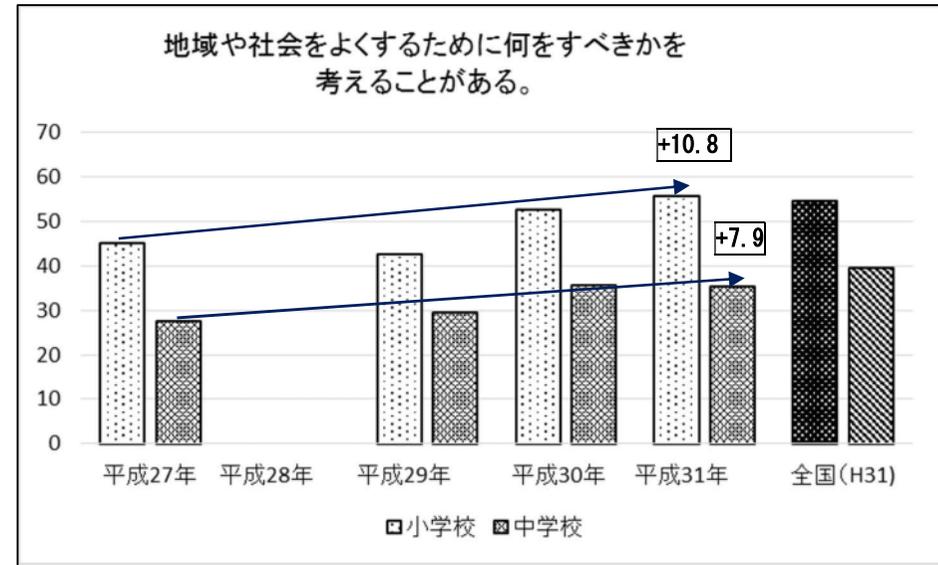
小学校 +8.5
中学校 +7.0

地域や社会に関わる活動の実施状況等



	H27	H28	H29	H30	H31	全国
小学校	53.1%	55.3%	47.4%	52.5%	57.0%	68.0%
中学校	34.3%	35.0%	31.9%	38.6%	39.9%	50.6%

平成 27 年度と比較
 小学校 +3.9
 中学校 +5.6



	H27	H28	H29	H30	H31	全国
小学校	45.0%	—	42.7%	52.5%	55.8%	54.5%
中学校	27.5%	—	29.6%	35.7%	35.4%	39.4%

平成 27 年度と比較
 小学校 +10.8
 中学校 +7.9